

みなみかぜ 南風通信

牧之原市立川崎小学校
コミュニティ・スクール
Vol.34 2026.1.14
発行責任者：村上 CSD

多くの地域のみなさんが授業ボランティアに参加

11月～12月

なかよしまつり準備 11/27 12/4

川小応援隊の皆さんに、なかよしまつりの準備のお手伝いをしていただきました。参加されたみなさんには、子どもたちの発想豊かな作品（迷路・お化け屋敷など）に感心していました。



花壇への定植 12/2

花壇が春の花でいっぱいになりました。高塚先生と園芸委員の子供たちが、種から心を込めて育てた約1200株の苗です。川小応援隊のみなさん15人と園芸委員の子どもたちの協同作業です。毎年2回、恒例となっています。花の咲くのが楽しみです。



おそうじ大作戦 12/18

1年生の生活科授業「おそうじ大作戦！」の応援に地域のみなさん9人が集まってくれました。窓拭き、お皿洗い、上靴洗いなど子供たちと楽しいひと時を過ごしました。



地域の先生になってもらえませんか？～川小応援隊メンバー募集～

川崎小学校コミュニティ・スクールでは、子どもたちを応援してくれる「地域の先生」やボランティアさんを募集しています。主な活動は、ミシンや手縫い・昔の遊び・昔の生活・福祉体験・まち探検など校外授業の引率・クラブ活動・音楽、理科、体育などのサポートや見守り・図書の整理・一年生の下校指導・草刈り・ペンキ塗り・修繕作業・花壇作業・農園作業・学校行事での駐車場整理・夏祭りなどイベントのスタッフなど。

お手伝いしていただける方は、コミュニティ・スクールディレクターまでご連絡ください。090-5004-3382（村上）

QRコードからオンライン登録登録できます⇒⇒



6年生が企画・実施した「合同避難訓練」～静岡新聞 2025.11.21掲載～

11月19日に起郷家教育『命と防災』の学習の一環として、静波区・静波保育園・川崎小学校による合同避難訓練を6年生自らが企画・実施しました。参加された地域の方々からは「実際の避難経路の確認ができた」「災害時に予想される状況を共有できてよかった」といった感想をいただきました。コミュニティ・スクールとしても学校と地域を結びつけることのお手伝いができる良かったと思います。

（第三種郵便物認可） 責争 JAPAN

津波避難訓練 住民、園児と一緒に



牧之原・川崎小 総合授業の一環

「落ち着いて」児童が誘導

牧之原市の川崎小で19日、児童が主導する津波避難訓練が行われた。同校6年生が近隣の保育園児や住民を誘導し、避難する教室や経路などを共有した。同校の全校児童や静波保育園の園児、近隣住民など約500人が参加した。津波警報が発表された想定で園児や住民が同校に集まつた。6年生は「ここから上階です」「土足のまま入って」と書かれたボードを住民に向けて掲示。階段では園児が転はないように支えながら、一緒に最上階に逃げた。

6年生は総合の授業の一環で、校内の防災訓練の在り方にについて議論してきた。7月の津波警報発表時に地域住民らが同校に避難したことを受け、児童の中から「たくさん的人が来ても混乱しないよう合同の訓練がしたい」との声が上がった。6年の大石惠美衣さんは「住民が落ち着いて上の階まで避難できるように、安心させる声かけを心がけた」と話した。

（樺原支局・沢口翔斗）

子どもたちといっしょに「授業」は楽しいね

2025/12/15 12/18



5年生と一緒に書初めを楽しむ地域の皆さん



3年生と「音」について考えました

地域のみなさんが、子どもたちと一緒に授業に出席しました。12月15日は、体育館で5年生の書き初めの練習に4名の方が参加しました。「書初めは60年ぶりだよ」という渡邊さんですが、楽しそうに堂々と「光る大地」を書き上げていました。大人と一緒にでの書き初めは、子供たちにとっても良い刺激になったと思います。12月18日は、3年生の理科の授業です。4名の方が参加しました。子供たちといっしょになってトライアングル、シンバル、音さなどを使って「音」について考えました。すごく楽しい授業で、45分は、あっという間でした。今回は、授業の支援や補助でなく「子供たちといっしょに楽しもう」という目的で計画しました。これからも子供たちといっしょに授業に参加する機会をつくっていきたいと思います。



川小ホームページ